

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

* やはり東京天文台 75 周年 (1953 年) 記念写真でした！

2008年11月5日付の、アーカイブ室新聞90号に萩原雄祐の文化勲章受賞記念祝賀会記念写真？として載せた記事の写真(写真1)は調査の結果、「東京天文台の百年」冊子に記載のとおり東京天文台75周年記念日の記念写真でした。検証前に記事を書き混乱を招いた事をお詫びします。この調査にお答えいただいたのは、古在由秀元台長、高瀬文志郎名誉教授のお二人です。筆者の質問に即座にご返事をいただきました。



写真1 東京天文台75周年記念日の記念集合写真

何年か前までは、このような東京天文台記念日とか、新年の御用始とかに当日出勤している全員で記念写真を撮ったものである。最近、このようなことがなくなったのは残念である。

記念日のことで、書き添えると、東京天文台75周年記念の行事を催した10月29日を東京天文台記念日として、以後、毎年、この日に永年勤続者表彰を行い、また全台行事として運動会などが催されていた。

また、国立天文台の見学区域が常時公開される以前は、1年に1回の一般公開が行われており、この東京天文台記念日であった10月29日前後の上弦の月の土曜日がその日に当てられていた。今年の特別公開に3800人の来訪者が訪れたと喜んでいる向きもあるが、昔は天気がよければ5000人というのが普通だったと記憶している。三鷹駅から特別便のバスが天文台ロータリーまで運行されていた。65cm赤道儀望遠鏡、20cm赤道儀望遠鏡、卯酉儀(30cm

反射望遠鏡)には長蛇の列ができ、頃を見計らって行列の最後を決めたが、並んだ人すべてに観望してもらうまで終わる事はなかった。観望担当者を除いた面々には観望が終わる前に「ご苦労さん会」の振る舞い酒が出ていた。



写真2 65cm赤道儀望遠鏡への長蛇の列